

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™



多台数同時接続でも高速通信と安定性を実現する
無線LANアクセスポイントでWi-Fi環境を整備

大阪府 阪南市議会 様

目的・課題

業務効率向上

業種

官公庁・自治体

導入商品

Wi-Fi
(無線LAN)

行政資料等をデジタル化・ペーパーレス化しデータで管理。業務効率向上とコストダウンを目指しWi-Fi環境を構築



導入先プロフィール (2021年8月現在)

組織名 大阪府 阪南市議会

所在地 〒599-0292
大阪府阪南市尾崎町35番地の1

URL <https://www.city.hannan.lg.jp/shigikai/index.html>

大阪府泉州地域の一番南に位置する阪南市。北は大阪湾に面し南は和泉山脈に接しており、海・山を中心とした自然環境に恵まれた地域です。地域が支えあう「誰もひとりぼっちにしない、誰も排除しない」持続可能な協働・共創のまちづくりに取り組む阪南市議会では、本庁舎と隣接する別棟のWi-Fi環境を整備することで、コロナ禍以前より議会改革のひとつとして考案していたペーパーレス化を推進し、業務効率の向上を実現。また、災害発生時は誰でも使用できるように緊急時モードへの切り替えにも対応します。

課題

紙資料の準備の
手間や紙のコスト

- 1 連絡事項はアナログ ▶ 資料のデジタル化を図りたい
- 2 コロナ禍で密を避けた会議 ▶ 遠隔でのリモート会議が急務
- 3 立地が関西国際空港に近い ▶ DFS障害の懸念

対策

- 1 本庁舎と別棟に無線LANアクセスポイントを導入し全館でつながるWi-Fi環境を構築
- 2 DFS障害回避機能搭載の無線LANアクセスポイントを導入

効果

ペーパーレス化により
業務効率が向上

- 1 議員にタブレット貸与 ▶ ペーパーレス化を実現
- 2 リモートによる会議 ▶ 感染症対策を考慮した会議運営
- 3 通信の遮断がなく快適に接続 ▶ 安定した通信により業務効率が向上

お客様インタビュー

阪南市議会
事務局 庶務課
課長
布施 秀樹氏

阪南市議会
事務局 庶務課
主幹
奥田 智昭氏



議会のペーパーレス化を目指し無線LANアクセスポイントを導入。 議員にタブレットを配布し、情報共有と業務の合理化を実現

概要

- 本庁舎と別棟でWi-Fi環境を構築
- DFS障害の懸念を払拭し多台数同時接続を実現

議会でのデジタル化を目指しWi-Fi環境を整備
大阪府の中で最も新しい市の阪南市には、14名の市議会議員が在籍。以前は、行政内での通知・連絡ともに紙ベースというアナログ方式でしたが、コロナ禍ということもあり、議員よりデジタル化への要望の声があがり、Wi-Fi環境の整備を行いました。
DFS障害回避と緊急時モード切り替えにも対応
無線LANアクセスポイントは、多台数同時接続機能に加えて、関西国際空港に近かったため、DFS障害の懸念があり「DFS障害回避機能」搭載商品を選択。また、災害発生時に緊急時モードへの切り替えが可能ということもあり、新型コロナウイルス感染症対策の交付金を活用し導入に踏み切りました。

目標・課題

- ペーパーレス化で効率向上を図りたい
- リモート会議等にもWi-Fi整備は急務

情報共有など議会のペーパーレス化を図りたい
2020年7月下旬に議会改革推進検討会を設置し、議会のペーパーレス化・ICT化について調査を開始。どのような機器を導入するとどういった効果があるのかを事務局で調査・報告を繰り返し、できるだけ予算を使わない・コストを抑えるという議員の意向も汲み、12月に導入が決定しました。
リモートでの対応にも万全な環境を整えたい
コロナ禍で密を防ぐ観点から、リモート会議が実施できるのが目標のひとつでした。「コロナ収束後も議員研修会などはタブレットで情報共有し、リモート参加がスタンダードになると予測しており、そのためにもWi-Fiの整備は必要でした」と阪南市議会事務局 庶務課 課長 布施秀樹氏は話します。

解決策

- 高速通信、安定した通信を実現する機器を採用
- 災害発生に備え集中管理ソフトウェアを導入

安定した通信を可能にする無線LANアクセスポイントを選定
日本電通株式会社の提案により、無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」を採用。日本電通株式会社 パブリック営業部 リーダー窪田優希氏と安永健志氏は「多台数同時接続や「DFS障害回避機能」、また緊急時モード対応の点でご要望に合致するとの考えで提案しました」と話します。特に「DFS障害回避機能」は関西国際空港も近いため意識されたとのこと。本庁舎に加え別棟もカバーし、全棟で利用可能なWi-Fi環境を整備しました。
災害発生時は緊急時モードに一斉切り替え可能
無線LANアクセスポイントの集中管理がパソコン1台から実行できるソフトウェア「WLS-ADT/LW」も導入。万が一災害が発生した際には、ボタンを押すだけで「緊急時モード」へ一斉切り替えが可能で、利用者はパスワードの入力を必要とせず、共通のSSIDを指定するだけでWi-Fiの利用ができるようになります。

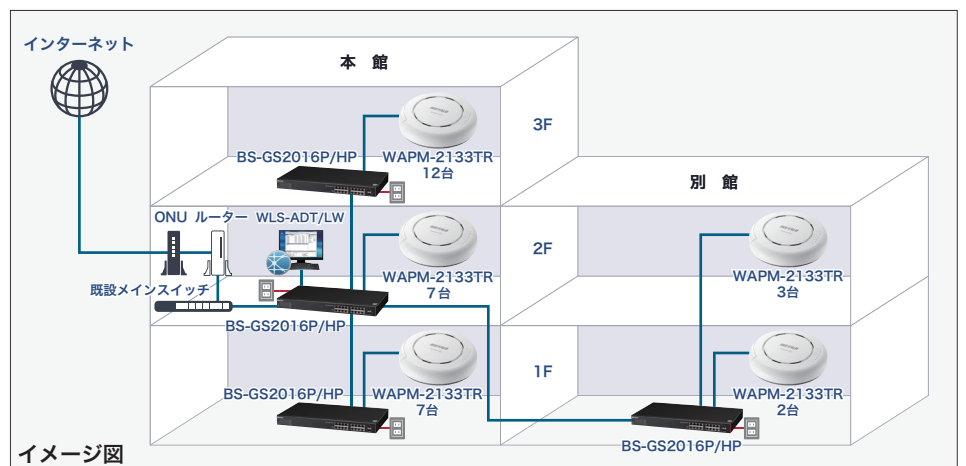
効果

- 手荷物の簡素化や業務の効率化に貢献
- 業務用パソコンもストレスなく稼働

情報共有のタブレット導入で手荷物が簡素化
「紙の場合、重くて持ち運びが容易でないデータがタブレットに保管されているので、議員からは手荷物が簡素化され情報も探しやすいと好評です」と、阪南市議会 事務局 庶務課 主幹 奥田智昭氏。印刷時間の短縮やペーパーレス化による紙・インク代の節約など、業務効率化は予想を上回るものでした。
ストレスなくブラウザーが動き検索もスムーズに
安定した通信による効果は通常業務にも現れています。以前はインターネットになかなかつながらずブラウザーの画面表示も遅かったのがストレスなく表示されるようになり、検索や調べ物がスムーズになりました。



Wi-Fi環境を整備したことにより、遠隔でのリモート会議を実現



多台数の同時接続でもトラフィックとDFS障害回避機能で高速通信と安定性を実現する無線LANアクセスポイント「WAPM-2133TR」を採用。本庁舎1階～3階と隣接する別棟に、31台の無線LANアクセスポイントを設置し全棟をフォロー。集中管理ソフトウェアを導入し、災害時における緊急時モードの切り替えにも対応。

●取材協力: 日本電通株式会社

導入商品



5年保証(※)
11ac/n/a & 11n/g/b
DFS障害回避機能搭載 トライバンド
法人向け無線LANアクセスポイント

WAPM-2133TR



5年保証(※)
IEEE 802.3at対応
PoEスイッチ ハイパワーモデル
16ポートモデル

BS-GS2016P/HP



集中管理ソフトウェア

WLS-ADT/LW

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長